

HOME 阪神・北摂 記事

阪神・北摂

ローラースケートブーム再び? 伊丹で利用増



スピードスケートを練習する子どもら。試合では、小学生でも300メートルを30秒余りで駆け抜ける=伊丹市北伊丹8

西日本唯一の日本ローラースポーツ連盟（東京都）公認リンク「伊丹市立ローラースケート場」で、利用者数が増加傾向にある。「安・近・短」のお出掛け先として人気があるほか、地道に続ける初心者教室も裾野の拡大に一役買っているようだ。人気タレントを輩出するジャニーズ事務所から今夏、ローラースケートも履く男性アイドルグループがデビュー予定といい、さらに“脚光”を浴びそうだ。（霍見真一郎）

市などによると、同スケート場は1982（昭和57）年、航空機の騒音から逃れて移転した運送会社の跡地を利用し、総工費4200万円で建設された。同連盟の公認リンクは、東日本には、東京都や千葉、長野県に8カ所あるが、西日本では伊丹にしかない。

伊丹は、現存する公認リンクで最も歴史があり、1周130メートルの周回コースには、全国で3カ所しかないというバンク（傾き）が付いている。高速でコーナリングできるため、スピードスケートのチームが練習することも多い。リンク中央ではホッケー大会も行われる。



「なぜ伊丹にローラースケート場が」と疑問が浮かぶが、市は、建設当時ブームだったことも一因と説明する。

ローラースポーツ総合メーカー「シルバーフォックス」（東京都）の森居稔営業部長によると、82～84年ごろ、アメリカで流行したローラードISCOが日本でも受けた。87～88年ごろには、ローラースケートを履いたアイドルグループ「光GENJI」が登場。「多くて年数十万個だったローラースケートの国内販売数が、そのころ3年間で約570万個に跳ね上がった」という。

1990年ごろからは、スキーブーツのような靴に、カラフルなタイヤを一つにつけた「インラインスケート」が人気になった。森居部長は「玩具からスポーツ用品と考えられるようになった」と振り返る。



2002年度、伊丹のスケート場は開設以来3番目という最低入場者数を記録した。インラインブームが過ぎ去ったためだが、ローラー付きの子供靴や、インラインスケート靴の廉価版が出回るようになり、子どもが次第に戻ってきた。

「家族連れが多くなった」と、伊丹市ローラースケート協会の井沢俊夫理事長（61）。大人2時間300円、中学生以下150円という手ごろ感も手伝ったようだ。

7～8月には「光GENJI」と同じジャニーズ事務所から、ローラースケートで滑るステージも披露する男性アイドルグループ「Kiss-My-Ft2（キスマイフットゥー）」が、CDデビューの予定。ブーム再興は、目前かもしれない。

(2011/06/20 09:30)